

2026年度 和泉短期大学 シラバス【専攻科】

授業科目名 科目ナンバー	コミュニケーション技術の基本 Ⅲ-6-1-4		教員氏名	齋藤香織		
学年	専攻科		開講学期	前期		
授業形態	演習		単位数	1単位		
必修・選択	専攻科		実務経験	介護福祉士	11年	
テーマ	介護におけるコミュニケーションの基本技術を理解し、利用者及び家族への対応を学ぶ					
ディプロマ ポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○	
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				○	
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。					
カリキュラム ポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教の精神を踏まえて、人々の権利を護り共に生きる人としての価値観を養うための科目				
	科目群Ⅱ 原理	多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕を実践する人間観を養うことができる科目				
	科目群Ⅲ 知識・技能	高齢者・障がいのある人を取り巻く環境を知り、様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につけることができる科目				○
	科目群Ⅳ 実践	身につけた価値観・知識・技能を現場に即して実践し、共に成長する体験を積む中で学び直し、キャリア形成の基礎を培うことができる科目				
授業の概要	今までに習得してきた自身のコミュニケーションについて分析し、意図的にコミュニケーション技術を活用し、利用者との信頼関係を構築する手段を身につけ、実際の介護実践に必要なコミュニケーション能力を身に着ける。介護福祉士として高齢者施設の現場で出会った実際の利用者とのかかわりやエピソードを紹介し、理解につなげる。また、介護福祉士の業は「介護者(家族)に対して介護に関する指導を行うこと」とあり、家族との良好な関係も構築できるよう、基本的なコミュニケーション技術を理解し習得する。					
授業の 到達目標	1. 利用者やその家族と良好な信頼関係を築くための、コミュニケーション技法を活用できる					
	2. 利用者の家族との関係性に配慮できる					
テキスト	「5コミュニケーション技術」 介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規出版					
参考書	講義の中で紹介していく					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○	
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○	
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める					
	ICT(ゲーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する					
	その他:					
成績評価方法	区分	割合(%)	内容			
	定期試験・ 筆記試験	60	定期試験は実施しない まとめテスト60%			
	授業内課題 ・発表等	30	小テスト30%			
	参加度・ 学習態度等	10	取り組み姿勢・演習参加度			
	その他					
再試験	行う	行なわない 場合の 理由				

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	介護におけるコミュニケーションの意義と目的	
	授業外学習	〈復習〉 自身のコミュニケーションスタイルのワークシートを実施する	55分
第2回	テーマ 内容	介護におけるコミュニケーションの対象と援助関係構築の理解	
	授業外学習	〈予習〉 テキストP11～14を読んでおく	55分
第3回	テーマ 内容	コミュニケーションの基本技術の実践的理解 「傾聴①」ロールプレイ	
	授業外学習	〈復習〉 バイステックの7原則を覚えておく	55分
第4回	テーマ 内容	コミュニケーションの基本技術の実践的理解 「傾聴②」ロールプレイ	
	授業外学習	〈課題〉 バイステックの7原則 小テスト 〈復習〉 意図的な受容や共感のコミュニケーションを生活の中で実践する	55分
第5回	テーマ 内容	コミュニケーションの基本技術の実践的理解 「受容・共感」ロールプレイ	
	授業外学習	〈復習〉 イーガンのSOLARを覚えておく 一次共感と二次共感の違いを理解すること	55分
第6回	テーマ 内容	コミュニケーションの基本技術の実践的理解 「自己覚知・距離」ロールプレイ	
	授業外学習	〈復習〉 受容・共感・距離についてまとめる	55分
第7回	テーマ 内容	言語コミュニケーションと、非言語コミュニケーションの理解	
	授業外学習	〈復習〉 自身の経験上で存在した言語と非言語コミュニケーションについてまとめる	55分
第8回	テーマ 内容	目的別コミュニケーション技術「動機づけ」内発動機と外発動機の活用「リフレーミング」の理解	
	授業外学習	〈復習〉 自身の経験上で存在した思い込みとそのリフレーミングについてまとめる	55分
第9回	テーマ 内容	実習 I の施設における利用者との意図的なコミュニケーション実践の報告会	
	授業外学習	〈課題〉 実習 I での利用者とのコミュニケーション事例を発表できるようまとめてくる	55分

第10回	テーマ 内容	意思決定支援におけるコミュニケーションとプロセス	
	授業外学習	〈復習〉 配付資料を読んでおくこと	55分
第11回	テーマ 内容	集団におけるコミュニケーションの意義と技術	
	授業外学習	〈予習〉 テキスト第2章第4節を読んでおく	55分
第12回	テーマ 内容	家族とのコミュニケーションの実際と関係性構築の重要性を理解する	
	授業外学習	〈予習〉 テキスト第4章を読んでおく	55分
第13回	テーマ 内容	まとめテストに向けた総まとめ	
	授業外学習	〈予習〉 これまで12回分の学習内容を、キーワードを確認しておく	55分

課題に対するフィードバックの方法

第4回、第9回にだされた小テストや課題は、10点満点にて評価後授業内にて共有、返却する。授業外課題のまとめレポートは参加度にて評価する。質問は授業時間内、又は次回授業時に回答する。